

工芸とデザイン - 椅子の模型制作を通じて、デザイン教育の導入を考える -

〇〇〇立〇〇〇〇高等学校 〇〇 〇〇 (芸術科 工芸)

1 はじめに

工芸を担当して、今年で11年目になる。(それまでは、美術を9年間教えていた。)大学では油彩や版画を学んでいたのに工芸の知識はあまりなかったが、実技研修会に参加したり、教材研究をすることで、多少教材の引き出しは増えてきた。

工芸と美術の違いはいろいろあるが、材料一つとっても大きく違う。紙、陶土、ガラス、木、金属など3年間で扱う素材はこれだけあり、その一つ一つにもいろいろな種類がある。小・中学校でそれらすべての素材を扱っているわけではないし、学校によっても当然課題は違う。どうしても授業の内容は、「どうやったら作品ができるか」技術的なことを教えることが中心になってしまい、作品のデザインを生徒に考えさせる部分がおろそかになりがちだった。

また、制作の具体的な手順を教えることは割合やさしいが、デザインの重要性を教え、アイデアを考えさせるのにインパクトのある方法がなかなか思いつかなかった。また、生徒の側も考えることをわずらわしく思う者が多い。言われたことをこなしている方が楽だからだ。

ところで、出張で自習にするときなど、自習課題で作品の続きをさせようとするとき、ナイフ、のこぎりなどの危険な工具を使わせたり、後かたづけをさせなければならず、自習監督の先生の手をわずらわせることが多く、結局道具を使わない課題にしなければならなかった。

そこで仕方なく、テレビなどで工芸に関係あるものを録画し、それを鑑賞をして感想を書く課題にした。いろいろな番組を集めているうちに、「ひょっとしたらこれは、アイデアを考えさせるのにも使えるかもしれない」と思い、授業に生かす方法を考えるようになった。

2 テレビを授業に生かす

(1) 番組を集める

4年前に個人的にハードディスクレコーダーを購入した。VTRになかった機能として番組表があり、1週間の番組を予約することができ、ドキュメンタリー・教養といったジャンルで番組を集めることもできる。地上波・BSデジタルであれば、簡単な番組紹介も見ることができるので、いろいろな美術・工芸番組を集めることが可能になった。今まで見なかったような深夜番組や、5分くらいの短い番組もハードディスクの中に収められるので、録画はとても簡単である。また、編集することもできるので、必要な部分だけ保存することも可能である。

放送日	放送時間	放送局	番組名	収録時間
7月13日(木)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
7月14日(金)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
7月15日(土)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
7月16日(日)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
7月17日(月)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
7月18日(火)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
7月19日(水)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
7月20日(木)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
7月21日(金)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
7月22日(土)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
7月23日(日)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
7月24日(月)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
7月25日(火)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
7月26日(水)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
7月27日(木)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
7月28日(金)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
7月29日(土)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
7月30日(日)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
7月31日(月)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
8月1日(火)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
8月2日(水)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
8月3日(木)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
8月4日(金)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
8月5日(土)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
8月6日(日)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
8月7日(月)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
8月8日(火)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
8月9日(水)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
8月10日(木)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
8月11日(金)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
8月12日(土)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
8月13日(日)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
8月14日(月)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
8月15日(火)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
8月16日(水)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
8月17日(木)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
8月18日(金)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
8月19日(土)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
8月20日(日)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
8月21日(月)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
8月22日(火)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
8月23日(水)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
8月24日(木)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
8月25日(金)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
8月26日(土)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
8月27日(日)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
8月28日(月)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
8月29日(火)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
8月30日(水)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00
8月31日(木)	20:00	TBS	美術・工芸のテレビ番組	20:00

表1 一週間で美術工芸のテレビ番組がどれだけあるか

表1は一週間でどのくらい美術・工芸

に関する番組があるか、新聞でわかる範囲を調べたものである。(放送大学は除く)番組は少ないように思っていたが、41も見つけることができた。NHKがやはり多いが、意外にも民放でもけっこう放映している。民放はエンターテインメント性が強いので、楽しく見せるにはよい選択かもしれない。また、番組の一部を切り取って部分的に使うのも効果的だと思う。

(2) どんな番組を見せたか

美術の番組は、探してみるとかなり多いが、工芸を扱ったものは思いのほか少なく、堅苦しいものもあって、高校生にみせるのに適当なものは本当に少なく困った。(表2参照)

表2 実際に見せた番組(工芸のもの)
人間国宝 奥山峰石・井上萬二 鍛金・陶芸作家の制作過程,簡単なプロフィールなどの紹介(25分)
NHK 人間ドキュメント 「命のある建築」安藤忠雄 海岸まで数mの土地に,4m×4mの4階建てコンクリート住宅を建てるまでのドキュメンタリー(30分)
NHK プロフェッショナル仕事の流儀 深澤直人・「ヒットデザインはこうして生まれる」佐藤可士和・「心地よい家はこうして生まれる」中村好文 デザイナー 深澤直人・佐藤可士和・建築家 中村好文 の発想の秘密,制作のドキュメンタリー 人間ドキュメントの後番組か?(45分)
NHK HV特集 「デザインルームの六ヶ月」 カーデザイナー奥村清行が率いるデザインチームがプロトタイプのスーパーカーを作るまでのドキュメンタリー(110分)
NHK 迷宮美術館 「北欧デザイン」 東京オペラシティギャラリーで行われた展覧会の出張版。北欧デザインの特徴や,ヤコブセン,ウェグナーといった北欧家具デザイナーと作品の紹介(45分)
NHK 人間ドキュメント 「かなな削り日本一～腕に覚えあり」 かなな削り日本一を巡って,数ミクロンの薄さを競う大工たちの戦い(40分)
フジテレビ ニューデザインパラダイス 鉛筆・切手など,身近にあり,ほとんど形が変わっていないものを新しくデザインしなおす番組。真面目な内容の中にも遊び心があり,楽しんで見ることができる(22分)
テレビ東京 財部ビジネス研究所 「ヒットの裏のデザイン」 経済とデザインの関係レポートした経済番組。iPod,日産キューブといったヒット商品のデザインはどこにこだわって作られたか,デザイナーにインタビュー(番組の一部15分)
テレビ東京 完成!ドリームハウス 理想の家を実現するためこだわった特徴のある住宅を紹介(90分)

(3) 実際の視聴例から

ア ニューデザインパラダイス鉛筆編

鉛筆をリニューアルデザインするのがテーマ。鉛筆の性質,種類,歴史,様々な鉛筆の紹介のあと,デザイナー神原秀夫(コクヨ カドケシの作者)が,リニューアルしたコンセプトについて語る。



ニューデザインパラダイス 鉛筆のデザインコンセプト

環境に配慮し再生紙を使用している
六角形の形にこだわりハニカム構造を採用
再生紙を使用したことで、従来の重さの 1 / 3 と軽い
削りくずの形が面白く、削る楽しみが味わえる
思わず手に取り、書いてみたくなるデザイン

写真 1 新しくデザインされた鉛筆

「視聴した生徒の感想」

1 年生男子

ビデオ（注 DVD のこと）はとても楽しかったです。なぜ楽しかったかと言うと、テーマが単純だけど難しかったからです。

子どもはあまり勉強が好きではないと思います。その子どもが、好きでもないのに思わず書きたくなるようなデザインは難しいと思いました。

僕はデザインとかそういうのにあまり自分に関係がないと思っていました。でも、少し考えると僕がものを買うときはデザインで決めていました。僕はこの授業をきっかけにものの見方が変わったと思います。

1 年生女子

私は最初、「工芸」とは、中学校の「技術」という授業と大して変わらないものなのではないか？と思っていました。でも、先生の話聞いて、「クラフト」と「デザイン」（注 インダストリアルデザインのこと）というようなものに分かれ、「デザイン」は私たちの日常生活の中にあるものだということがわかりました。

DVD で「鉛筆のデザイン」について観ると、鉛筆にこんな歴史や経路があるとは思いませんでした。

デザイナーの人が作った「鉛筆」という作品は、紙（注 再生紙のこと）なので環境に優しく、暖かみがある作品で、その上、強度のことまで考えたことが「考えぬいているなぁ…」と感心しました。

このように、身近なものに目を向け、新しいデザインを考えるということはとても素晴らしいことなんだなと思いました。

私も人が目を引くようなデザインを考えたいです。

イ 財部ビジネス研究所 ヒットの裏のデザイン(一部)

多くの企業が業績を上げるために工夫しているが、デザインによりそれを克服した例を紹介している。アップル i p o d 日産キューブ ± 0 などが取り上げられ、キューブは、何を考えてデザインしたかについて作者が答える。



写真2 日産キューブ



写真3 ±0 液晶テレビとリモコン

日産キューブデザインのデザインコンセプト

28歳のデザイナーが自分と同世代を対象にデザインした。

全体的に60～70年代の定番デザインを随所に取り入れ一生使える車を目指した。

後部ガラスを小田急線の窓、フロントライトにドラえもんからヒントを得るなど、視覚的に親しみやすさを取り入れている。

角形にして、居住空間を広く取ったり、後部を見やすいように左右非対称にするなど、使いやすさもよく考えられている。

±0 液晶テレビとリモコンのデザインコンセプト

画面のふちを極力小さくして、シンプルにすることで、どんな生活にも溶け込む。

リモコンを探すことが多いため、はっきり見えやすい赤にし、歯磨き粉のチューブのようにすることで、自立できる。

「視聴した生徒の感想」

1年生男子

デザインというものは大して関係がないと思っていたけれど、デザインに力を入れた企業が次々に成功していると知ってデザインの大切さをよく知る事ができた。

成功した人たちのデザインをよく見ると、よく使う側としての気持ちをよく考えていたのがわかり、成功した理由がよくわかった。デザインに大切なのは、今ある状態からよりよくするためには、いったいどうしたらよいのかを日々考える事が必要だと思った。

しかし、そうは言ってもデザインに力を入れすぎて価格が高すぎてもいけないと思う、成功をするためには、デザインと価格のバランスが大切なのではないかなと思う。

1年生女子

ビデオ（注 DVDのこと）を見てものを使うときの便利さがデザインによく表現されているんだなと思いました。

日産Cubeのデザインを見ていて、デザインするには自分や使う人のことを考えたときにどのような物がいいのかななどをよく考えて、デザインされているんだなと知り、すごいなと思いました。

また、±0のデザインを見て人が何気なくする行動などを見てデザインする上で、取り入れているという事で、デザインは私たちの生活で案外身近なんだなと言うことを知りました。

価格や昨日だけではなく、これからはデザインも生産者にも、消費者にも重要になってくるんじゃないかなと思います。

自分が好きだなと思ったり、いいなと思うデザインを上手に表現できたらいいなと思いました。（注 本人の文章のまま）

このほかの感想文を見ても、DVD を観て楽しい、よかったというコメントが多かった。

鑑賞させた中では、人間国宝「○○」といったものよりも、身近なもののデザインについて考えた番組や、建築家・デザイナーのドキュメンタリー番組、ニュース番組でデザインについて扱ったものなどの方が、生徒の反応がよいように感じた。

(4) テレビ番組のメリット ～どのようにデザインを考えさせるか～

よいデザインを思いつくには、やはりひらめきが必要である。しかし、そうはいってもどのように考えたらデザインができるのか、ただ生徒に任せるだけではなく、ある程度はどうやって考えるか道筋を教える必要があるのではないか。

しかし実際に説明するにはいろいろな障害がある。資料も多く集めなければならないし、自分の専門以外の分野の場合もある。すべてにわたり、授業研究をきちんと行うのが望ましいのだろうが、なかなか時間がとれないことも多い。

建築模型の課題を例にとると、平面図・立面図をただ見せても、生徒にはどんな建物かイメージがわからない。生徒に見せる参考作品として、模型を作るにもかなりの時間がかかってしまう。

しかし、テレビ番組「プロフェッショナル仕事の流儀 建築家中村好文」では、実際の敷地や建物を写し、プランニングで作った模型に実際にカメラを通して、人の目線で室内がどのように見えるか見せたり、建築家が何を考え、どんなところに工夫をしているか、どのような経歴を歩んできたかまで、わかりやすく説明してくれる。これは生徒にデザインの楽しさを伝えるのに大きな武器になる。

ただし、テレビに頼りすぎる危険性もある。それを防ぐ意味でも、生徒に見せる番組も場合によっては一部分を見せるなど精選し、漫然と見ないようにポイントを理解させるプリントを作るなど、こちらの準備も必要である。上手に使うことができれば、テレビは、授業に引きつける道具として、とても効果があると思う。また、いろいろな番組を集めることで、自分の知らなかった世界を理解することにもなり、教材研究としても有効なのではないだろうか。

3 授業実践 ～椅子のデザインの授業を通して～

(1) 題材設定の理由

工芸ではどうしても作ることに重点が置かれがちである。例えば授業では、木材の加工切断や粘土でのたた板制作、といったことに時間の大半がとられてしまう。もちろん制作をきちんとすることは大切なのだが、指導すればするほど、よい作品はできるがどれも同じものになるというジレンマにおちいる。

アイデアを練り、デザインを考え出すこと抜きに良い作品はできない。また、デザインの中で生徒一人一人の個性も表現できる。そこで、デザインとは何か、どのようにデザインを考えるかにウエイトを置いた授業を考えた。

デザインを考えることに抵抗を感じる生徒が多い。それは、どのようにすれば良いデザインができるか、よいデザインとは何かわからないことが一つの理由である。そこをわかりやすく説明するため、導入段階でテレビ番組を利用しながら、プロのデザイナーがどのように考えて、作品を作ったか等を学ばせる。もちろん一例でしかないが、アイデアを考える上で参考になると考えている。また、デザインに重点を置くため、技術的なことにあまり時間を使いたくない。作品は小・中 学校で学んだ技術の応用でできるものにしたい。

そこで思いついたのが紙の模型である。これならば、はさみ、カッターなどといった簡単な

道具でつくることができるし、組み立てるときも実際のようにほぞ穴をあけたりせず、接着剤でくっつけばよいので簡単である。また、スチレンペーパーを使えば、厚みを持たせることもできるし、樹脂粘土と併用することで、多彩な形の表現や、着色も可能である。

テーマは、椅子にした。理由ははどの家にもある身近なものであり、「すわる」といったシンプルな機能にもかかわらず、ダイニングチェア、ロッキングチェア、ソファ、スツール、などといろいろな形があり、使っている素材も幅広く、多彩な表現ができると考えたからである。

(2) 材料・道具

1ミリ方眼紙、油土、スチレンペーパー、スチレンボンド、樹脂粘土（プロフェッショナルライト）針金、布、カッター、デザインナイフ、ハサミ、定規、クリアファイル、アクリル絵の具など

(3) 導入

NHK迷宮美術館「北欧デザイン」を見せる。

食器・椅子などの作品をデザイナーが「何を考えて（テーマにして）デザインしたか」、北欧を代表する3人の作家の椅子の特徴、デザインの手法の一つ「リ・デザイン」などについて理解させ、生徒がデザインを考える参考にするのがねらいである。

ただ漫然とテレビを見られると困るので、10個ほどの質問を書いたプリントをあらかじめ配り（図1）、それを完成させながら鑑賞をさせる。（これによって鑑賞の分野を充実させるねらいもある）

見せているものは一つの例なので、それにあまりこだわりすぎず、「こんな考え方で作品を作っているんだ」くらいの意識づけをする。

その後、偏らないように北欧以外の椅子を20点ほど（雑誌の写真をCDにしてテレビモニターに写す）見せながら、使っている素材や、特徴などについて簡単に解説する。

図1 北欧デザイン鑑賞プリント



写真4

今までに、2億脚が制作されたといわれる名作椅子。曲げ木の技術を使い、シンプルで美しく、軽くて丈夫、安価といった理由で、ウイーン中のカフェに置かれていたため、別名カフェチェアともいわれる。

写真4 「チェアNO.14」ミハエル・トーネット作 1859年 ビーチ材 籐

写真5



トーネットの成功は、形の美しさだけでなく、ノックダウン方式をとって、組み立て式にしたことにもある。これにより、写真5のように分割することで、36脚も収納することができ、輸送するコストが大幅に減った。また、壊れた部分の部品だけを取り替えることも簡単にできた。

写真5「チェアNO.14」 パーツに分解した写真



写真6

椅子に背や座面があるといった固定概念をくつがえした作品。ビーズ状のポリエチレン粒を椅子の形に縫われた布に適度に詰め、実際にすわると全方向に移動し、座る人の形に変化する。

写真6「サッコ」(袋) ガッティ、パオリーニ、テオドーロ作 1968年 ポリエチレン 布張り



写真7

日本の近代デザイン「ジャパニーズモダン」を代表する椅子。太い籐を心材にして、蒸気で蒸し、熱を加えて編み込んでいる。もともと外国からきた椅子を、日本の畳部屋にもマッチするようにデザインされている。

写真7 籐丸椅子 剣持 勇 作 1961年 籐 布張りクッション

(4) アイデアスケッチ ～コンセプトについて考える～

どんな椅子を作るのか、まず様々な条件を文章で考えさせてから、スケッチをさせる。これは、ただ何となく思いついたものを作品にするのではなく、きちんと何を作りたいのか用途、場所、使用者、素材などを考えてから作業させることで、安易な制作にならないようにすることが目的である。(図2, 3, 4) ただし、あまり文章で考えすぎないこと、形を先に考えてからコンセプトを決めてもよいことを話す。

椅子のデザインを考える

どんな用途の椅子か

どんなときに使うか(場所)

どんな人が使うか

どんな素材か

備考(自由)

図2 コンセプトプリント

椅子のデザインを考える

どんな用途の椅子か

どんなときに使うか(場所)

どんな人が使うか

どんな素材か

備考(自由)

図3 コンセプト例

椅子のデザインを考える

どんな用途の椅子か

どんなときに使うか(場所)

どんな人が使うか

どんな素材か

備考(自由)

図4 コンセプト例

スケッチを4点以上させ、作りたいものを指導者と検討しながら1つに絞り、プリントに清書させる。その際、正面、側面、背面、上面の4方向から見た図を書かせる。(簡単なことなのだが、なかなかこれができない者がいる)この図は、模型を作るときに必要なだけでなく、模型を制作するときに役に立つ。(図5)

また、工芸選択者のなかには絵をうまく描けないコンプレックスを持つ者も多いので、粘土を使ってデザインを考えさせてもよい。(写真8)

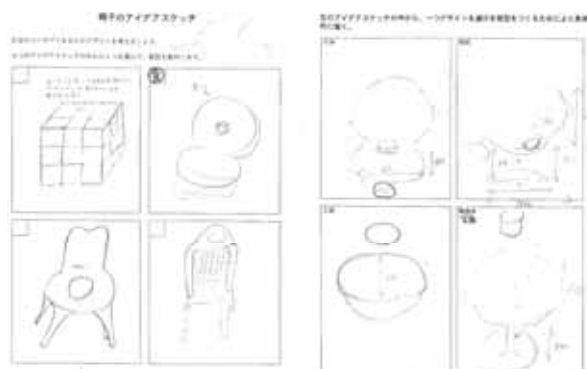


図5 アイデアスケッチ



写真8 粘土でアイデアを練る

(5) 製図

アイデアスケッチで描いた正面、側面、上面、背面の図を、1ミリ方眼紙に10分の1の縮尺で記入する。(図6～9)

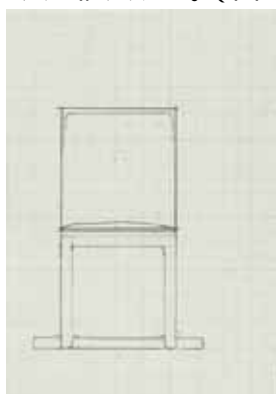


図6 正面図

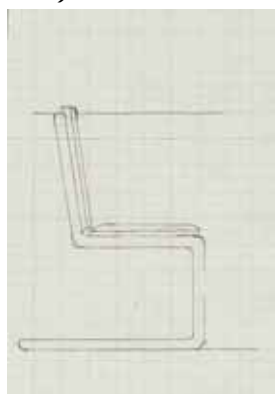


図7 側面図

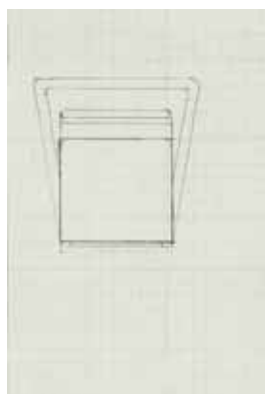


図8 上面図

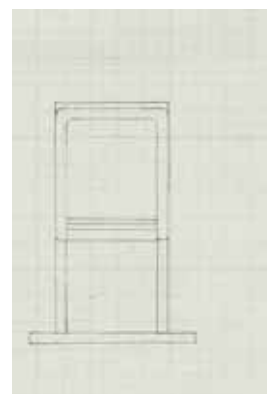


図9 背面図

製図は直接スチレンボードに転写するので、厚みや大きさを慎重に吟味しながら作業させる。

(6) 転写、切断、組み立て、修正

スチレンボードに、製図をはり、カーボン紙をはさんで転写する。カッターなどで切断して、スチレンボードで接着する。(写真9)へこんだ部分などはパテで修正する。

クッションなどの形を作るには、樹脂粘土を使い製図を見ながら成型する。(写真10)均一に薄くするには、クリアファイルにはさんで、ローラーでのばす。その他、針金、布などいろいろな素材も使えるので、その都度工夫しながら制作させる。



写真9



写真10

(7) 着色 , コンセプトシートの記入

アクリル絵の具で着色する。素材の違いを表現するために金属部分はシルバーを塗るなど工夫をする。(写真 1 1 , 1 2)



写真 1 1

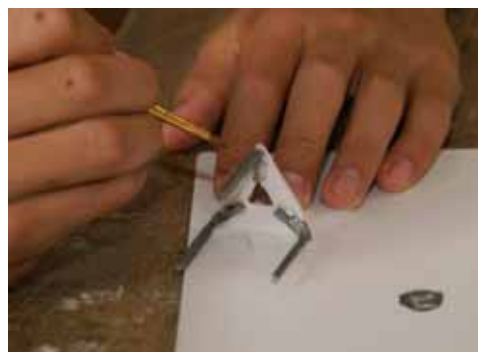


写真 1 2

題名
1. どんなことを考えてこの椅子をデザインしたか(セールスポイント・特徴など)
2. 形で工夫したところはどこか
3. 使用場所
4. 使用目的
5. 使用者
6. 素材

1年 組 番 氏名

作品が完成したら,なぜこの作品を作ったのかなどがわかるように,コンセプトシートに記入する。(図 1 0)

作品で表現しきれなかった部分を補うことも記入する目的である。

図 1 0 コンセプトシート

(8) 完成作例



写真 1 3

題名	モノクロチェア (写真 1 3)
1 . どんなことを考えてこの椅子をデザインしたか	周りがうるさかったりしても,人と話ができたり1人でも,周りを気にしないでのんびりできるイス
2 . 形で工夫したところはどこか	ひじかけをでっぱらせないでひっこませた。 あたまの所は包みこむかんじにして周りの雑音は,きこえないようにした。背もたれをカーブさせて体がイスに合うようにした。2人で話しているときでも背もたれが曲がっているから話がききとりやすくなっている。
3 . 使用場所	ホテルのロビーとか多くの人がそれぞれ話している所
4 . 使用目的	少人数の話し合いや会話をするとき
5 . 使用者	だれでも
6 . 素材	合成の革



写真 1 4

題名 「ILLUMINTI」 chair (写真 1 4)
1. どんなことを考えてこの椅子をデザインしたか 刺激をあじわいたいひとのために，刺激をあじわえるように刺激的にデザインした。
2. 形で工夫したところはどこか 刺激的にするために有刺鉄線や，くさりをつけて，さらに血しぶきをつけた。
3. 使用場所 どこでもできます
4. 使用目的 刺激を欲しい人用の刺激欲処理
5. 使用者 刺激を求めている人
6. 素材 有刺鉄線，くさり，皮，木材



写真 1 5

題名 パール オブ オーシャン (写真 1 5)
1. どんなことを考えてこの椅子をデザインしたか 海の家にある椅子はどれも似たような椅子ばかりなので海の家合うちょっと変わった椅子を作ろうと考えた。あと涼しい感じのする椅子であるもの考えた。
2. 形で工夫したところはどこか 貝をコンセプトにしたところで，全体的に丸みのある形にした。素材にプラスチックを使ったことにより，水をかけることが可能である。水の入ったクッションを使ったことにより冷たくてリラックスできる作品にすることができた。
3. 使用場所 海の家
4. 使用目的 リラックスしたいとき
5. 使用者 海に遊びに来た人
6. 素材 椅子・ オットマン...プラスチック，真ん中の真珠...水の入ったクッション

(9) 評価

	関心・意欲・態度	芸術的な感受や表現の工夫	創造的な表現の技能	鑑賞の能力
題材 評の 価 規 準	椅子のデザインに関心を持ち，自ら工夫して意欲的に制作している。	椅子の機能について理解し，感性を働かせて，独創的な形を表現することができる。	模型制作について基礎的な技能や，コンセプトを効果的に表現する方法を身につけている。	他者の作品の良さや美しさを味わうことができる。

	関心・意欲・態度	芸術的な感受や表現の工夫	創造的な表現の技能	鑑賞の能力
学 習 活 動 具に 体お のけ 評る 価 基 準	椅子の美しさに関心を持っている 自分のコンセプトに従いつつ、独創的な形を表現するように努力している。 用具，材料等をきちんと扱い，片づけることができる。	素材の特長や美しさを感じ取り，特長を生かした制作をしている。 機能と形の関係を学び，コンセプトを生かしながら，独創的な表現を工夫している。	模型を美しく表現するために必要な，用具の使い方などの技能を身につけている。	意欲的・主体的に椅子の良さ，美しさを味わうことができる。 作者や時代背景に関心を持ち，椅子の特長や美しさについて理解できる。

(1 0) 実際の評価例

芸術的な感受や表現の工夫の評価



写真 1 6

評価 A (写真 1 6)
座りやすい椅子とはいえないが，キャベツをモチーフにした形の面白さはそれを上回る魅力がある。脚の部分もフォークやナイフになっていて，作者の工夫を感じさせる。



写真 1 7

評価 B (写真 1 7)
肘掛けの部分など，魅力的な所はあるものの，背板の角度，クッションが小さいなどの点でもう少し工夫が欲しかった。



写真 1 8

評価 C (写真 1 8)
まとまった形になっているが，残念ながら形のオリジナリティをあまり感じない。



写真 1 9



写真 2 0



写真 2 1

創造的な表現の技能の評価

評価A（写真１９） 細部にわたり，丁寧に制作されている。接合面のすきまにきちんとパテを詰め，ヤスリがけが施されている。	評価B（写真２０） 形は丁寧にできているが，着色後に工作用紙の線が残っていたり，ハートの塗り方がやや雑である。	評価C（写真２１） 針金が曲がっていたり，スチレンボードの張り合わせも雑である。着色もムラが目立つ。
---	---	--

4 まとめ

考えを言葉だけで表現することは，難しいときがあるが，絵で表すと簡単に伝わることもある。電話だけでなくFAXが必要な理由である。

はじめは，自習用に工芸を扱ったテレビ番組を集めていたが，番組を見ている内にデザイナーや建築家が何を考えてものを作ったか，映像は生徒に伝えるのによい方法だと考えるようになった。今回は椅子をテーマにしたが，DVDを見せる理由はデザインする方法のヒントを与えることであり，その他の課題でもこの手法は使えると思う。

余談だが，番組を集めている中で，意外とニュース番組でデザインを取り上げていることに気づいた。その中で，印象に残ったのは，イギリスではデザイン教育を国策として行っているということだ。日本の技術力は世界でもトップレベルだが，ハードウェアだけでなくこれからはソフトウェア（デザインなど）も重要になってくるだろう。デザインに資源はいらない。人の頭脳で，いかようにもいいものが生まれてくる。しかしそれは，人が何を欲しているか考えないことには成り立たない。

自分たちが見慣れている自動車，携帯電話，消しゴムなどの工業デザインは，使う人のことをよく考えて作られている。しかし，ただ使っているだけでは，デザインの面白さはわからない。実際に制作し，体験してみて初めてわかるのである。デザインは独りよがりのものではない。他人のことを考え，どのようにしたら，楽しく，便利に使ってもらえるか工夫しなければ，よいデザインとはならない。

デザインの重要性はわかっていてもそれについて教えるのは難しい。たぶんそれは抽象的なことを教えようとしているからであり，それにどういったらよいか具体的な形を与えることは自分にとって難しい課題だった。しかし，テレビ番組を活用することで，その問題もだいぶ解決されつつある。

ところで人の気持ちを考えることは，今の学校教育にもっとも必要なことだと思う。よいデザインは他者を思いやる気持ち無くして，成り立たない。ただものを作るのではなく，人のことを考えてものを作る。工芸の授業で学ぶ「考えてものを作ること」は人を成長させる力があると確信している。

出典

ホームページ 株式会社アイ・アール・アイコマースアンドテクノロジー レスポンス

http://response.jp/issue/2005/1210/article77281_1.html

BS日テレ財部デザイン研究所 http://www.bs4.jp/tbl/sp/index_02.html

NHKオンライン <http://www3.nhk.or.jp/toppage/navi/documentary.html>

書籍 世界の名作椅子 100 ワールドフォトプレス社